

2023年度 人材養成セミナー (第13回マーケティング研究会)

JA農産物マーケティング力の向上および次代の営農経済事業を担う人材養成をめざす実践的セミナーです。主対象は、若手～中堅の営農経済担当者。現場の日々の悩みや課題を共有のうえ、具体的な解決策や実践手法を学べます。JA直販型マーケティングや有機農業の先駆的取り組みの視察研修プログラムも充実。



農産物マーケティングの
最前線から、充実の講義

日にち

9月4日(月)～6日(水) 2泊3日

13:00開講

12:00閉講

会場

群馬県甘楽町 甘楽ふるさと館

※対面のみ。オンライン併催はありません。

〒370-2202 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡 2014-1 (宿泊も同じ)

定員

上限 30 名 (講師・事務局を除く)

参加費

会員 35,000 円 (2人目以降は 25,000 円)

非会員 40,000 円 (2人目以降は 40,000 円)

※ 宿泊費・食事代込、交通費別途

※ 事前振込み。お振込先・方法等は別途お知らせします。



商品プレゼンの
実践力を養成

参加お申込み方法

JA総合営農研究会のホームページ上の参加申し込みフォーム (QRコードからご覧ください) からお申し込みいただけます。または、同封の申込書にご記入のうえ、FAX または Eメールでお送りください。

申込み期限：8月23日(水)まで

(期日を過ぎた場合はご相談ください)

お問合せは農文協 担当：嶋川へ

TEL:048-233-9336 E-mail: info@ja-it.net



直販型マーケティングの
現場オペレーションに学ぶ

プログラム

*タイトル・内容とも仮です。大幅に変更する可能性もあります。

1日目

- 12:00～ 受付
- 13:00 開講挨拶
第1講 甘楽富岡の営農システム
 黒澤賢治 (JA総合営農研究会代表委員)
- 14:30 **第2講 米流通・消費の変化と産地戦略**
 吉田俊幸 (JA総合営農研究会副代表委員)
- 16:00 **第3講 カット・加工野菜の需要・消費と産地の動き**
 仲野隆三 (JA総合営農研究会副代表委員)
- 18:00 夕食・情報交換会

カリキュラムの詳しい内容は、下記のQRコードからホームページをご覧くださいいただけます。



黒澤賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)



1950年生。JA甘楽富岡営農事業本部長やJA役員等を歴任。中山間地帯の基幹作目の相次ぐ崩壊を経験し、地域営農システムの再構築に奔走。多様な人材・地域資源を活用した少量多品目生産の周年型産地、365日型インショップのマーケティングシステムなどを実践し、第30回日本農業賞大賞を地域の皆さんと受賞。そんな悪戦苦闘の営農現場を紹介する。

吉田俊幸 (JA 総合営農研究会 副代表委員)



1948年生。(一財)農政調査委員会理事長ほか。米の生産・流通・消費を専門に研究。近著に『米産業は生き残れるか』(共編著)。コロナ禍、ウクライナ危機のもとで、穀物価格の上昇等、米をめぐる環境の変化への適確な対応が求められている。新時代の産地戦略を紹介。

仲野隆三 (JA 総合営農研究会 副代表委員)



1949年生。JA富里市常務理事など歴任。加工・業務用野菜の生産と取引拡大、生産者の組織化を牽引した。中食市場の拡大など近年の需要の変化を踏まえ、加工・業務用野菜の契約取引などの実用知識を紹介。

2日目

- 6:30 現地視察1 JA甘楽富岡インショップ出荷の実際
- 8:00 朝食
- 9:00 現地視察2 JA甘楽富岡パッケージセンター(キノコ、野菜)
- 10:30 現地視察3 「有機の町」甘楽町の取り組み
- 12:00 昼食
- 13:00 **第4講 地域資源を活かした商品開発とマーケティング戦略**
 塚田佳満 (株・DMGフォース代表取締役社長)
- 14:30 **第5講 産直の現場から ～消費の変化と産地への提案**
 工藤友明 (パルシステム生活協同組合連合会産直事業本部本部長)
- 16:00 **第6講 人材養成セミナー卒業生の実践**
 岩崎健二 (JAえちご上越常務理事) 第1回(2009年)修了
 柳沼陽介 (山から(株)代表取締役) 第11回(2019年)修了
- 18:00 夕食

塚田佳満 (株DMGフォース 代表取締役社長)



全国各地の団体・企業に赴き産直・取り寄せ・特産品の商品開発を支援。地域進行に有効なマーケティング手法や魅力的な地域ビジネスの創造について、豊富な事例をもとにノウハウを提供する。

工藤友明 (パルシステム生活協同組合連合会 産直事業本部副本部長)



作り手との顔の見える関係を築き、農産物自給率を高めるべく産直運動を実践。コロナ禍やウクライナ問題などを経て消費はどう変わったか。求められる農産物とは。消費者ニーズを踏まえ、産地に提案する。

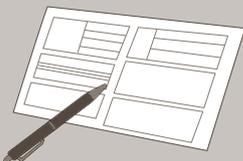
3日目

- 7:30 朝食
- 9:00 模擬プレゼンテーションと指導
 評価と総括コメント
 修了証書授与
- 12:00 閉講・解散

事前課題について

受講される皆様には、事前課題として「商品プレゼンシート」の記入をお願いいたします。お申し込み受領後、記入様式を事務局よりお送りします。

記入したシートにもとづいて、3日目に模擬プレゼンを行なっていただきます。講師陣より講評やアドバイスがあります。



【会場案内】 甘楽ふるさと館

▶セミナーハウスと宿泊施設が一体となっています。冷暖房完備、全室トイレ・テレビ付き、多機能トイレ有り、バリアフリー対応。性別・年齢等を問わず3日間快適にお過ごしいただけます。

▶〒370-2202 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡 2014-1

▶最寄駅：上信電鉄上州福島駅 (JR高崎駅にて下車し、上信電鉄に乗り換え約35分) 電車をご利用の方には、上州福島駅から会場まで送迎バスをご用意いたします。閉講後も、上州福島駅に向けて送迎バスを運行します。

